

静内農高生産馬通算5勝目! ユメロマンにつづけ!!

2009年5月20日(水)

5月20日、快晴の門別競馬場は開門から多くの人が出で賑わっていた。この日は新生・門別競馬場「グラシヤリオナイター」開幕日で、ホッカイドウ競馬の行く末を賭けた歴史が動く日だ。高橋はるみ北海道知事やJRA交流戦には武豊騎手も加わって、場内は熱気にあふれた。

初シユペール 勝利

しずのう新聞

09.5.20
創刊号

全国各地から喜びの声続々



その記念すべき日の第1レースに北海道静内農業高校生産馬のシユペール(幼駒名・愛華)が出走することとなった。折からの新型インフルエンザの影響を受けてマ

クを着用した生徒たち110名が当日、風薫る門別競馬場へ応援に駆けつけた。

生徒一行が到着した時には第1レースのパドックが周回中で、ゴール前に陣取った生徒たちはターフビジョンでシユペールが映し出されると『愛華が映っているー!』と声を上げた。ほどなくして返し馬が始まる。小嶋久輝騎手を背にゆつくりと駆け出したシユペールの姿を生徒たちははどんな思いで見守ったのだろうか。シユペールの生産に携わった3年生の川島さんにレース前の心境を伺った。

「着順は関係なく、無事に走ってくれば」という気持ちです。生徒みんなで見るのは初めてなので、この日を楽しみにしていました。初めて競馬場に来る生徒がほとんどです。パドックに出した応援幕は女子部員6人が中心となつて制作しました。



りました。分、この馬から色々なことを学ばせてもらいました」と、記憶の糸を辿った。

昨日は「勝てば最高だね」とみんなで話をしていた」と、胸の内を明かしてくれました。引率した杉本先生は競馬場に入るや真新しいパドックにシユペールの応援幕を掲げ、好走の願いを込めた。レース前のお気持ち伺うと、「沢山の生徒と一緒に競馬場で応援できることは初めてのことで、たいへん喜んでおります。今日はお天気にも恵まれて良かったです。このように高校生が頑張っている姿をアピールして、少しでも馬産地が盛り上がるにつれればと思います。」と語り、朗らかな表情の中にも馬産に対する秘めた情熱が感じられた。

色々学ばせてくれた馬

この日のシユペールはパドックで厩務員さんに寄り添い、少し甘えるような仕草やヤンチャなところを見せていた。川島さん曰く、「学校にいた頃でも馬産地が盛り上がるにつれればと思います。」と語り、朗らかな表情の中にも馬産に対する秘めた情熱が感じられた。